

## 研究機関名：東北大学

受付番号：2014-1-737
研究課題名：胸腺癌に対する化学療法の実態・有効性についての観察研究
研究期間 西暦 2015 年 2 月（倫理委員会承認後）～ 2015 年 12 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録情報 ）
上記材料の採取期間 西暦 1995 年 4 月～ 2014 年 3 月
意義、目的 本研究の目的は化学療法を施行された胸腺癌の患者背景、治療内容やその効果を後方視的に解析し、治療効果に影響を及ぼす背景因子を明らかにすることである。 胸腺癌は稀な腫瘍であり、標準治療は確率しておらず効果予測因子なども明らかになっていない。そこで多施設の胸腺癌の診療録データを収集し、後方視解析をすることにより実施臨床を行う上で有益なデータを得られ、標準治療の確立に向けた前向き試験を実現することが期待できる。
方法 当院は研究分担施設として、対象患者の診療録を後方視的に調査し、調査票に下記データを記入・匿名化後、事務局（順天堂大学）に送付する。 【対象者】1995 年 4 月から 2014 年 3 月までの間に、東北大学病院で胸腺癌と診断された方 【調査の対象】年齢、性、Performance Status、喫煙歴、既往歴、合併症、胸腺癌の組織型、ステージ、血液検査所見、腫瘍マーカー、治療レジメンとその効果、有害事象の有無と内容、放射線治療の有無等、手術の有無等、診断日、治療開始日、化学療法開始日・最終投与日、最終転帰と確認日など ※個人を特定できるような情報（住所・生年月日、連絡先等）は含みません。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院臨床研究推進センター 井上 彰 東北大学病院呼吸器内科 宮内 栄作 仙台市青葉区星陵町 1-1 電話 022-717-8539